

2022年度事業報告書

(認定・埼玉県指定)特定非営利活動法人 国際協力NGO・IV-JAPAN

スローガン	その手に技術を、アジアに自立を
団体ビジョン	地球上のすべての人々が違いを超えて共生できる平和な社会の実現を目指します。
団体ミッション	共生できる平和な社会の実現を目指して、国際協力活動、特に職業訓練や就業支援を通してアジアの人々の心と経済両面での自立を促進するとともに、国内外において相互理解のための活動を行います。

事業実施概要

- ・ラオスの人々の経済的自立を促進するため、教育支援・職業訓練・農村開発等の海外協力事業を実施した。
- ・コロナ情勢を見据えて、オンライン環境整備を行い、日本国内における国際理解、開発教育事業をさらに充実させた。
- ・組織基盤強化、運営体制の強化、事務局体制の強化、財政基盤の強化に努め、収益事業も視野に入れ情報収集をした。
- ・他団体との連携により海外・国内事業の拡充を図った。

1. 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日・実施場所・その他詳細
(1) 国際協力事業	IV奨学金支給: ①カノック奨学金支給 日本全国より奨学金ドナーを募り、ラオスの職業訓練生に奨学金(64名)を支給し、教育の底上げに寄与した。	実施日時: 通年実施場所: ラオス 従事者の人数: 2名 受益対象者の範囲及び人数: 64名(職業訓練生)
	②チャンパー山の民奨学金支給 日本全国より奨学金ドナーを募り、職業訓練に参加する訓練生15名に生活費として支給し、教育の機会の拡充に寄与した。	実施日時: 通年実施場所: ラオス 従事者の人数: 2名 受益対象者の範囲及び人数: 15名
(2) 国際協力事業	ラオス木工職業訓練校における教育レベル向上プロジェクト (JICA草の根パートナー事業5年目) VEDIの教員と学生に対し、継続して家具の制作指導を行った他、Youtubeへの木工動画のアップデートを継続して行った。 パイロット校へモニタリングへ行き、プロジェクトの成果を確認した。	実施日時: 2022年4月~2022年7月 実施場所: ラオス 従事者の人数: 8名 受益対象者の範囲及び人数: 22名 (VEDI木工教員2名、県職業教育校木工教員10名、ラオス家具協会4名、VEDI 学生6名)
(3) 国際協力事業	(申請)山間部の青少年の生計向上のための木工職業訓練プロジェクト (JICA草の根パートナー事業1年目):	→不採択
(4) 国際協力事業	地方の女性・青年の就業促進のためのホスピタリティ・介護職業訓練 (外務省NGO 連携支援無償資金協力事業延長) 第4期のホスピタリティ研修3カ月間を実施。	実施日時: 2022年3月~7月 カウンターパート: 首都ビエンチャン教育局、ナーサイトン郡教育課 実施場所: ナーサイトン郡職業訓練センター 従事者の人数: 7名 受益対象者の範囲及び人数: 24名受入、23名修了
(5) 国際協力事業	ビエンチャン都辺境郡の女性の自立のための介護職業訓練 (彩の国さいたま国際交流基金+山の民奨学金+カノック奨学金+パルシステム平和募金) 第1期介護職業訓練 2023年1月6日から4月6日まで15歳~40歳の15名(女子8名、男子7名)	実施日時: 2023年1月6日~4月6日 カウンターパート: 首都ビエンチャン教育局、ナーサイトン郡教育課 実施場所: ナーサイトン郡職業訓練センター 従事者の人数: 6名 受益対象者の範囲及び人数: 15名(訓練生)
(6) 国際協力事業	介護インストラクターコース職業訓練 外務省NGO連携支援無償資金協力事業	→不採択
(7) 国際協力事業	マイクロファイナンス事業(夢屋基金): ラオス職業訓練所上級コース卒業生に対し、小規模資金を貸し付け、起業を促進。	実施日時: 通年実施場所: ラオス 従事者の人数: 3名 受益者の対象者の範囲及び人数: ラオス職業訓練修了生
(8) 国際協力事業	IVラオ日文化事業: IV-JAPANの文化事業部門として、ラオス・日本双方の文化紹介等(茶道、落語等)の事業を行い、両国民の日ラオ文化理解に努めた。	実施日時: 通年 実施場所: ラオス ビエンチャン 従事者の人数: 2名 受益者の対象者の範囲及び人数: ラオス人、外国人および日本人
(9) 国際協力事業	ネパールIV事務所開設準備	準備中
(1) 国際理解・開発教育事業	大学生インターン、ボランティア受入: インターンをラオス事務所受け入れ、プロジェクト等を通して国際協力への理解を深め、将来国際的に活躍する人材を育成した。	実施日時: 3月6日~4月7日 実施場所: ラオス 受益者の対象者の範囲及び人数: 1名 津田塾大学 国際関係学科 石綿美友紀
	(2) 国際理解・開発教育事業	イベント出店 10月1日、2日グローバルフェスタ ボランティア10名 10月9日国際ふれあいフェア ボランティア6名 10月29日大宮区民ふれあいフェア ボランティア4名 12月4日あげおワールドフェア ボランティア5名 文化理解 12月3日ラオス料理教室 参加者25名 活動紹介 12月9日芝浦工大大宮キャンパス 生徒数104名 2月8日~23日大宮区市民活動ネットワーク団体活動紹介展示会 来場者数 1,828名
	(2) 国際理解・開発教育事業	◎アジア文化理解講座: コロナ情勢によりオンライン/ハイブリットイベントも検討 日本人にアジア料理、語学、文化、経済、社会等を学ぶ機会を作り、アジア理解の促進を図る。

(3) 国際理解・開発 教育事業	(国際事業部会の活動) ①SNSで現地の人にIV-JAPANの活動を紹介。 ②第22回スタディツアー(ラオス): →コロナ情勢により未実施 ③現地の事業や施設等のフォローアップを通し、子どもの基礎学力の改善を目指す。 ④国内イベント用にラオス障害者のアクセサリーの販売を国内部会と協働して行う。	実施日時:年1回 通年実施場所:ラオス 従事者の人数:2名 受益者の対象者の範囲及び人数:スタディツアーは未実施。ラオス障害者のアクセサリー販売は、各種国際イベントにて実施した。
(4) 国際理解・開発 教育事業	(基盤強化部会の活動) ①収益事業を視野にラオシルク販売について、高級品ラインでの販売へ移行を検討する。→未実施 ②「PanasonicNPO/NGOサポートファンドfor SDGs」を活用し組織基盤を強化。運営体制を見直し具体的な実施案を作成し実行した。	実施日時:通年 実施場所:日本 従事者の人数:6人(プロジェクトチーム)
NPO/NGO /大学ネット ワーキング促 進事業	1.(特活)国際協力NGOセンター(JANIC):正会員 2.さいたま市国際NGOネットワーク:団体会員 3.Laos INGO Network(ラオス):正会員 4.アジア・コミュニティ・トラスト:登録団体 5.さいたま市大宮区市民活動ネットワーク 6.彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク:団体会員	実施日時:通年 実施場所:日本全国、ラオス 従事者の人数:2名
その他(1)	パルシステム平和募金を、N連ホスピタリティ・介護職業訓練事業の訓練生の食糧補助費として活用した。	実施日時:通年 実施場所:ラオス パルシステム平和募金:421,193円
その他(2)	「Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs」を活用し、組織基盤を強化。運営体制を見直した。	実施日時:通年 実施場所:日本 従事者の人数:6人(プロジェクトチーム)
その他(3)	広報紙発行・活動報告、他: 会員及び一般市民に対する広報活動 1.IVニュース(年3回発行) 2.ホームページ、FB更新、ツイッター(年数回更新) 3.インスタグラム、Youtubeの開設 4.PR TIMES掲載 5.日本国内各種イベント出展 6.NHKラジオ深夜便ラオスレポート(富永年4回) 7.NHKラジオ「マイあさ」ラオスレポート(富永年6回)	実施日時:通年 実施場所:日本、ラオス 従事者:日本事務所1名、ラオス事務所:3名 IV-NEWS3回発行(4月、8月12月) ホームページ、FB、ツイッター(毎週更新) 埼玉県国際交流協会PR動画作成

2. 収益事業 なし